

(様式第3号)

## SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】今後の事業展開において取り入れたり取得できる環境マネジメント規格を検討する。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】環境へ配慮している取り組みを明確に公開する。 ・HP、SNSなど、オーガニックが環境に与える影響を発信している。												12.6					
	20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】事業に使い、取り入れられるグリーン電力を検討する。								7.2					13				
	21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・トリートメントに使うオイルと精油を始め、お飲み物、お菓子、お使いになるタオル類、ハンドソープなど、お客様がお過ごしになる空間で利用するものの全てを、天然資源でありオーガニック認証をとっている物を使い、天然資源の持続的利用に配慮している。												12.2	13	14	15		
公正な事業慣行	22	<input checked="" type="checkbox"/> 【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	個人事業者であり、従業員がおらず、オーナーセラピスト(今回の申請者)のみの運営のため非該当。														16	16.5		
	23	<input checked="" type="checkbox"/> 【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	個人事業者であり、従業員がおらず、オーナーセラピスト(今回の申請者)のみの運営のため非該当。														16			
	24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・【予定】製品開発・技術開発をした場合は、特許取得や商標など知的財産権の取得と管理をする。								8.2 8.3	9								
	25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・お客様個人データを徹底管理している。															16		
	26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・自社で扱っている商材の全ての原材料サプライチェーンを把握し、紛争鉱物は取り扱っていない。														16			
	27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・取引先とは密に連絡を取り、人権侵害防止等の確認は勿論のこと、生態系への悪影響と生物多様性への理解のもと、常に確認活動を行った上で、取引をしている。						5		8	10	12	13	14	15	16	17		
	28	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・ご提供するサービス・製品自体の安全性を第一に考えている。 ・お客様へ与える不快感や安全確保の観点を踏まえたチェックリストにチェックをしながら日々接客準備をする。			3.9									12.4					
製品・サービス	29	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・お客様からの要望やご意見そしてクレームなどに常に細かく対応している。 ・【予定】製品の安全確保の観点を踏まえたB00kを作成する。								9									
	30	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・取り扱う製品は全て環境に配慮されたオーガニック認証を取得したものを使っている。 ・【予定】地球におけるオーガニックの重要性を周知徹底をする。(勉強会、WS、講演など)						6					12	13	14	15			
	31	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】社会の、地球の課題解決に向けた取り組みを推進する。(土に還る洗剤などの量り売りステーションの設置、勉強会、WS、講演など)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
32 社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域での活動を大事にし、地元情報誌での連載をしている。(自宅で体质改善のセルフケア記事) ・【予定】事業への地域への影響をもっと伝える場を設ける。(土に還る洗剤などの量り売りステーションの設置、勉強会、WS、講演など)				4					9		11	12		14	15	17		
		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】地元の中学生、高校生への職業体験の機会を提供する。				4								11		14	15		17	
		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	・地域(市内)資源である地下水から作られている水を優先的に利用し、ご提供している。									8	9		11	12	13				
35 組織体制	<input checked="" type="checkbox"/>	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	個人事業者であり、従業員がおらず、オーナーセラピスト(今回の申請者)のみの運営のため非該当。									8	9							17	
		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守の必要性と重要性を把握している。																	16	
		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	個人事業者であり、従業員がおらず、オーナーセラピスト(今回の申請者)のみの運営のため、全てを事業主が担当している。																	16	
		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・利害関係者(お客様や取引先)と対話しながら、活動や経営が利害関係者に及ぼす影響を把握し、対応している。																	16	17
		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・【予定】リスクを発見、特定するためにリスクマップなどを制作する。それをもとに評価対策を行う。																		16
		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】CSRの考えに基づき行える事業展開を積極的に考える。																		16
		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・【予定】接客中やお客様がいらっしゃる時間の災害や事故の発生における訓練と避難経路の確認。対応を考える。										9		11	13	13.1			16	
		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・【予定】後継者の育成について考え、検討と対策を進める。									8	9								17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【予定】近隣地域・県内の各所に、量り売りのサボンステーション(仮名)を設置。	・洗剤(衣料用洗濯洗剤/食器用洗剤)について環境配慮型の大容量BOXから量り売りをするかたちで、ステーションの設置をしたい。買い手は、容器を持参するためゴミも出ずエコに利用できる。洗剤ブランドは「ソーダサン(独)」と「ソネット(独)」で予定している。製造工程から使用後まで環境を汚染せず、自然原料からできた洗剤であること。合成香料、合成着色料、合成保存料が不使用なこと。オーガニック認証とエコギャランティを得得しているものとして、この2社を選択。																	

#### 【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
  - ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)